二中の木

学校報
第１６号
H30/02/15

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

「平成二十九年度学校評価 通年」（二月集計）

保護者へのアンケート結果 まとまりました！

今号では、一月にお願いした「学校評価アンケート」の集計結果についてお知らせします。

評定は、中間をなくした４段階とし、否定か肯定かを明らかにしました。評定Ａ・Ｂを肯定的回答、Ｃ・Ｄを否定的回答として整理し、以下結果を見ていきます。

質問文は紙面の関係で少し省略した形で載せてあります。（ ）は前期との比較です。

A:十分達成している
B:おおむね達成している
C:どちらかというと達成していない
D:達成していない

保護者アンケート結果

学校運営について

今の三年生とその保護者の方々は、私とは三年間のお付き合いです。ある意味、三年間の振り返りでもあります。

1
◇肯定的回答 ９７％（↓－２Ｐ）
◇否定的回答 ３％

『学校は、運営方針を示すなどの情報発信と保護者の協力を大切にした開かれた学校経営に努めている。』

2
◇肯定的回答 ９９％（→±０Ｐ）
◇否定的回答 １％

『学校は、勢いのある学校づくりに向け、特色ある教育活動に取り組んでいる。』

3
◇肯定的回答 ９６％（→±０Ｐ）
◇否定的回答 ４％

『学校は、校訓を取り上げながら“生きる力”を育てることに前向きに取り組んでいる。』

組織運営について

保護者の方々が、身近で接している生徒の現実の姿でお答え頂いたと思います。二中の一体感への振り返りです。

4
◇肯定的回答 ９３％（↑＋２Ｐ）
◇否定的回答 ７％

『生徒と先生は、めざす生徒像の実現に向け思いを一つに学校生活の充実に努めている。』

学習指導について

何のために学ぶのか、学びをどんなふうに生かしていくのか。その答や答のヒントが、生徒と一緒に見付けられるような学習にすることが目標です。

5
◇肯定的回答 ９１％（↑＋４Ｐ）
◇否定的回答 ９％

『生徒は、今後の基礎となる学習を将来に向けて研こうと積極的に取り組んでいる。』

6
◇肯定的回答 ９４％（↑＋６Ｐ）
◇否定的回答 ６％

『先生は、生徒の将来に向けた学びを研こうと、より前向きに学習を支援している。』

道徳教育について

今年度、道徳教育での授業交流が各学年で盛んに行われました。新指導要領の目玉、教科化への準備が進められています。

7
◇肯定的回答 ９１％（→±０Ｐ）
◇否定的回答 ９％

『二中への愛校心と、ともに高め合おうとする志を育てる「心の教育」に努めている。』

特別活動について

学級の中の自分、部活動の中の自分といった、集団と自分との良い関係について考えたり経験から学ぶのが特別活動です。

8
◇肯定的回答 ９４％（→±０Ｐ）
◇否定的回答 ６％

『自分に責任を持ち、集団での活動に生き生きと参加できる生徒を育てることに努めている。』

裏面へ】

生徒指導について

乱暴に「生徒指導」を言い換えると、「応援してもらえる人づくり」ではないでしょうか。人の応援が自信になるという化学変化が必要です。

9

◇肯定的回答
９４％
（↓－１Ｐ）
◇否定的回答
６％

『生徒は学校や地域、家庭の中でよりよい人間関係に支えられ、毎日意欲的に過ごしている。』

家庭での取組について

年度初めのＰＴＡ総会で、保護者、生徒、教職員が「一体となれば二中の人数なら相当のことができる。」と言いました。数多い思い出が残りました。

10

◇肯定的回答
８９％
（→±０Ｐ）
◇否定的回答
１１％

『ＰＴＡ活動や学校行事への参加、学校の情報発信に関心を払うなど、学校と一体となった教育活動をしようとしている。』

アンケート結果を振り返って

前期調査との比較です。全校の平均肯定回答率は94％で＋1ポイントとなっています。今回、「学習」の評価に改善が見られました。前面に書いたように何のために学んでいるのかに気付いた時に、本当の学びが始まります。私達の大切な使命であり責任です。

成果と考えられること

〇一年生では、質問項目10項目中６項目でポイントが上昇しています。学校行事、ＰＴＡ活動、部活動への協力を通して、二中全体の動きが把握できてきたのではないでしょうか。より一層ご協力頂けるよう、経営改善に努めます。

〇二年生では、１項目の上昇ですが、学習と道徳についての３項目でＡ回答の割合が上昇しています。二中の新リーダーに、期待する気持でいっぱいです。

〇三年生では、７項目が上昇していました。保護者どうしの協力態勢が素晴らしかったこと、学校への応援が力強かったこと等が思い出されます。卒業を控えた生徒方も、中学校生活の良いしめくくりが出来そうですね。

課題と考えられること

□質問項目１についてです。マイナス２Ｐでした。学習や部活動、生徒会行事、学校行事等の様子を見てもらう機会に参加してもらえる方を増やす工夫をしたり、活動後の感想が聞こえてくる態勢作りをしたりする取組に力を入れていきます。

□質問項目10についてです。学校、家庭、地域が一体となった教育活動がよりその効果を高める条件である、との考えから設けた項目です。学校へのかかわりの様子を見ている限り、自己評価の数字はもっと高くても良いのではと思っています。

活躍の場面、参加協力の拡大等に改善の手が必要かもしれません。

対応の迅速性とより高い効果のために、緊急を要する自由記述には記名をお願いしていますが、ありませんでした。ただ、生徒の持ち物の量の多さ、生徒に向けた挨拶への配慮、生徒指導に関する情報等が書かれていました。労をねぎらうお声や、励ましも多数頂きました。両方とも私達にとっては貴重な応援です。一致対応のため、職員で全文読ませてもらいました。次年度もよろしくお願いします。【終】

Ｈ２９保護者アンケ＿ト集計　通年　％表示